

佐野市景況レポート

平成25年7～9月期



佐野商工会議所
〒327-0027 佐野市大和町 2687-1
TEL 0283 (22) 5511 FAX 0283 (22) 5517
HP <http://www.sanocci.or.jp>
E-mail s-cci@sanocci.or.jp
調査協力：佐野市あそ商工会

佐野市景況調査報告

(平成25年7～9月期)

佐野市内の建設業・製造業・商業・飲食店・サービス業290社を対象に調査し、195社(回答率67.2%)から回答がありましたものを取りまとめたものです。

《 概 況 》

景気回復の実感は乏しいが、市内の業況は改善傾向

10月1日の閣議で、来年4月の消費税引き上げが決定された。

同日実施された日経新聞社の経営者緊急アンケートによると、123社の経営者の9割近くは、今回の消費税率の引上げを評価している。また、増税分を製品・サービス価格に転嫁でき、増税後の個人消費も底堅いとみている経営者が多い。

一方、大和総研の是枝俊吾研究員の試算では、世帯年収600万円の共働き4人世帯で、消費増税により1年間に使えるお金が10.7万円減る。消費増税は食料品の値上げで苦しくなっている家計に、さらに打撃を与えるとみている。

前回(1997年)の消費増税時には、引き上げ幅は2%であったが、駆け込み需要の反動減が増税後の個人消費に大きなマイナス影響を与えた。今回は5兆円超の経済対策により、駆け込み需要の反動減を吸収し、景気の腰折れを回避する計画であるが、増税後、実際の景気がどうなるか判断は難しい。

本景気調査の「景況に関するコメント欄」に、市内事業所から次のコメントがあった。

「非常に厳しい現実です。猛暑のせいだけで売れない言い訳はできない。どうやって生き残っていくかを考えねばなりません。厳しい中でも活況な会社、商店はあるのですから。」

多くの中小企業においては、今後も厳しい経営環境が続くと予想される。このコメントは、厳しい環境下でも、諦めないで、生き残っていく手立てを常に考え、実行することが重要だと再確認させてくれる。

佐野市の7-9月期景況調査結果は、全業種業況DI指数▲7.2、4-6月比+6.9と改善された。

利益DI指数(7-9月期)は、▲17.1と4-6月比+10.1の大幅な改善となった。これは、仕入価格の高止まり、販売価格への転嫁の遅れのなか、売上高DI指数が4-6月比+9.0改善したためである。

今後、3か月間の全業種業況DI指数は、▲1.6、7-9月期比+9.5と一層の改善を予想する。売上高DI指数7-9月期比+3.9、販売価格DI指数7-9月期比+3.5と、売上高増加とともに販売価格への転嫁が進むと予想する。本調査では、第三四半期(10-12月)の業況改善を期待している。

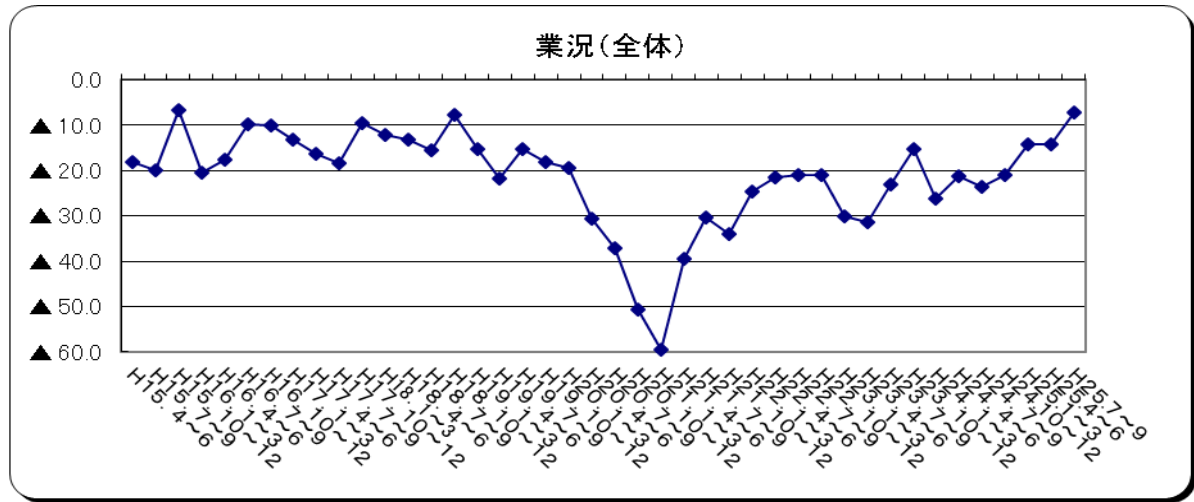
調査協力：OKコンサルティング 代表 岡野 清(中小企業診断士)

☆ 業況について

全業種 DI 指数 ▲7.2、前期比 6.9 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①設備業 21.4 ポイント、②機械・金属製造業 20.0 ポイント、③建設業 5.7 ポイント、
- ④化学・プラスチック製造業 0.0 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む） ▲6.4 ポイント

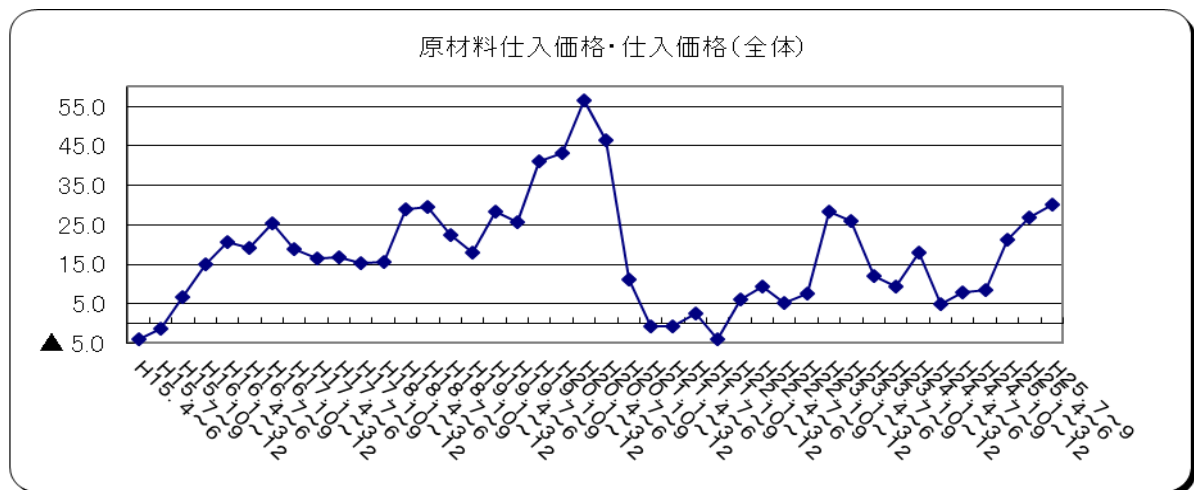


☆ 原材料仕入価格・仕入価格について

全業種 DI 指数 30.2、前期比 3.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①飲食店 65.2 ポイント、②繊維品製造業 60.0 ポイント、③その他の製造業 48.4 ポイント、
- ④サービス業 38.5 ポイント、⑤小売業（飲・食料品） 36.8 ポイント

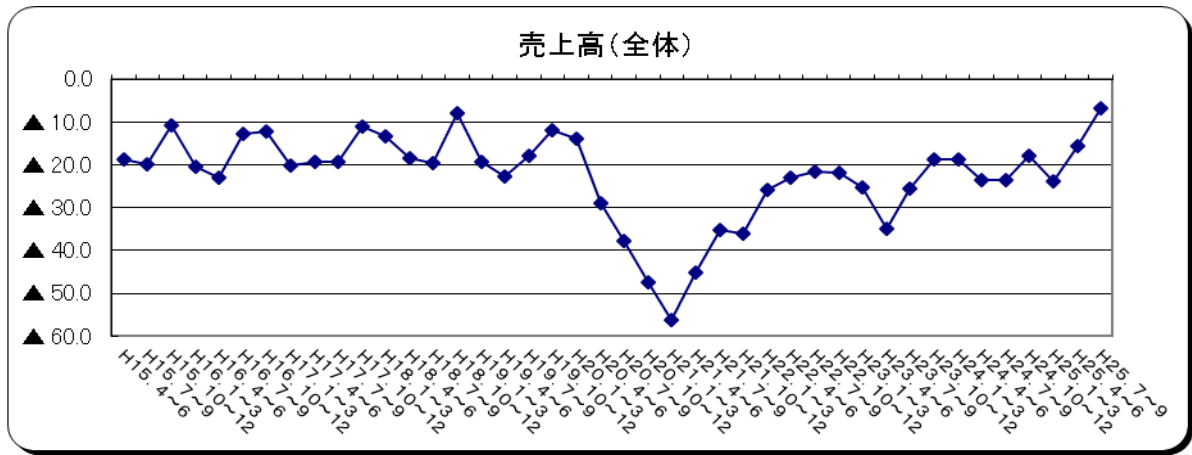


☆ 売上高について

全業種 DI 指数 ▲6.7、前期比 9.0 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 20.0 ポイント、②設備業 9.7 ポイント、③繊維品製造業及び化学・プラスチック製造業、その他の小売業（大型店含む）、サービス業 0.0 ポイント

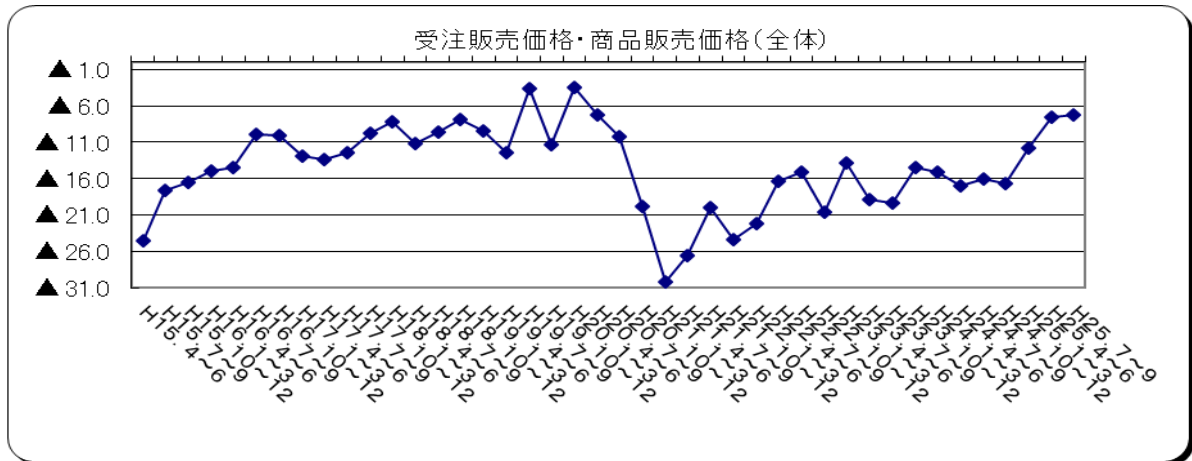


☆ 受注販売価格・商品販売価格について

全業種 DI 指数 ▲7.3、前期比 0.3 ポイント上昇

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①卸売業 7.3 ポイント、②設備業及び機械・金属製造業、その他の小売業 (大型店含む)、飲食店、サービス業 0.0 ポイント

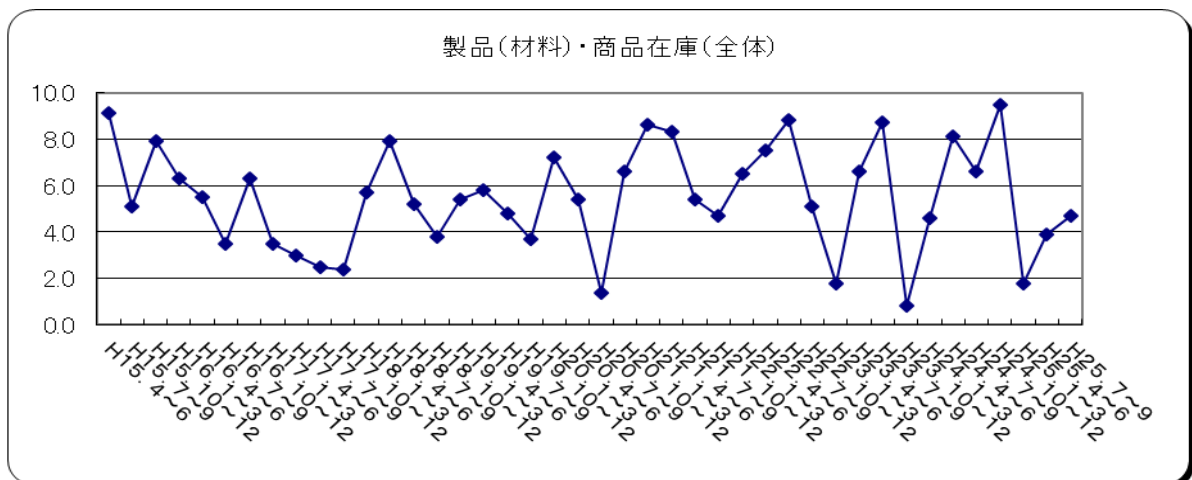


☆ 製品 (材料) 在庫・商品在庫について

全業種 DI 指数 4.7、前期比 0.8 ポイント増加

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①その他の製造業 37.5 ポイント、②小売業 (飲・食料品) 25.4 ポイント、③卸売業 15.8 ポイント、④食品製造業 9.7 ポイント、⑤建設業 5.1 ポイント

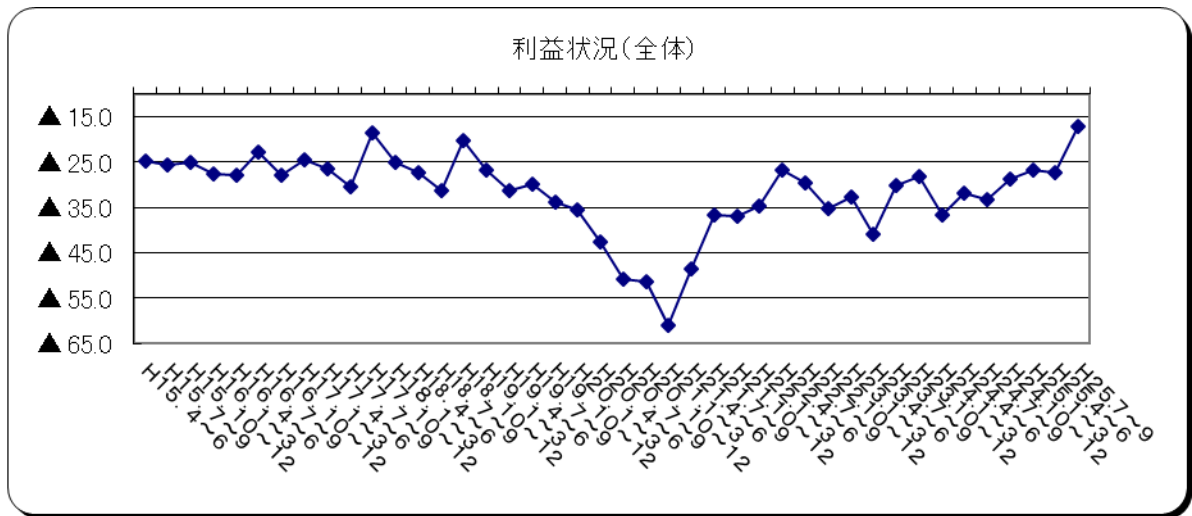


☆ 利益状況について

全業種 DI 指数▲17.1、前期比 10.1 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①機械・金属製造業 11.4 ポイント、②設備業 0.0 ポイント、③卸売業▲7.3 ポイント、
④建設業▲11.1 ポイント、⑤その他の小売業（大型店含む）▲13.0 ポイント



☆ 資金繰りについて

全業種 DI 指数▲5.2、前期比 1.8 ポイント改善

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①建設業 15.8 ポイント、②設備業 9.7 ポイント、③卸売業 7.3 ポイント、④機械・金属製造業及びその他の製造業 0.0 ポイント

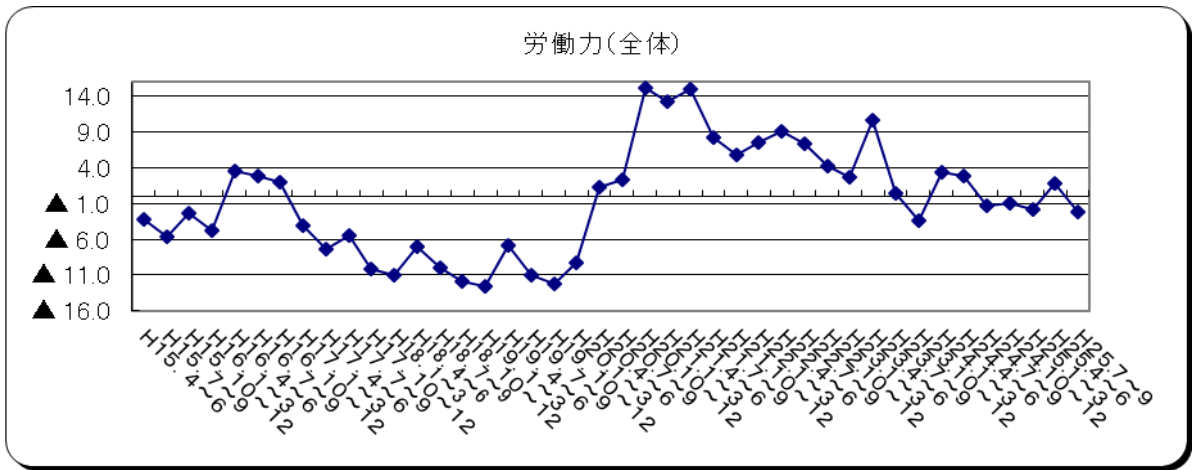


☆ 労働力について

全業種 DI 指数▲2.1、前期比 3.9 ポイント減少

業種別 DI 指数（上位 5 業種）

- ①繊維品製造業 15.0 ポイント、②小売業（飲・食料品）14.8 ポイント、③化学・プラスチック製造業 11.7 ポイント、④飲食店 11.1 ポイント、⑤食品製造業 10.0 ポイント

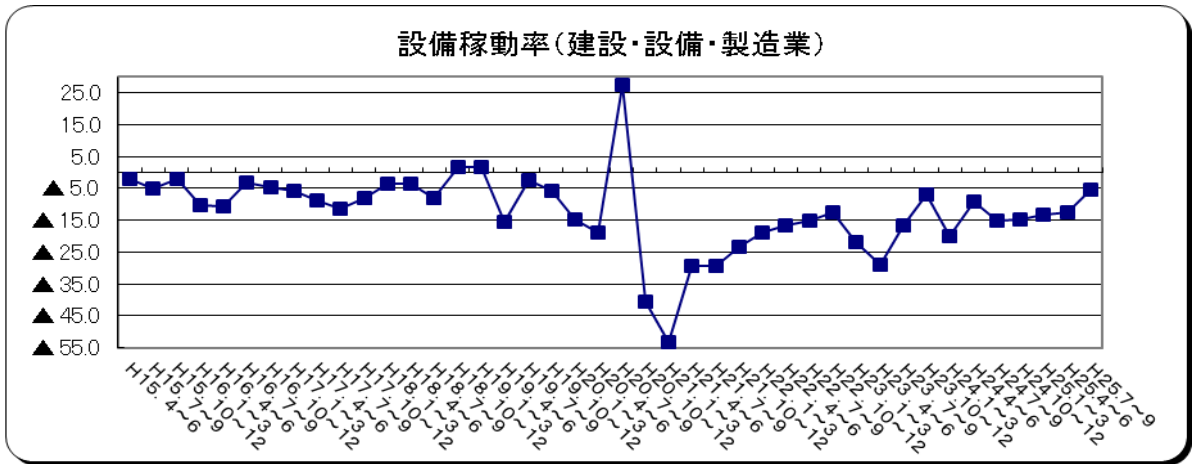


☆ 設備稼働率について (建設・設備・製造業関係)

全業種 DI 指数▲5.4、前期比 7.1 ポイント改善

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①機械・金属製造業 15.8 ポイント、②建設業 10.3 ポイント、③その他の製造業 9.1 ポイント、④設備業 0.0 ポイント、⑤化学・プラスチック製造業▲8.1 ポイント

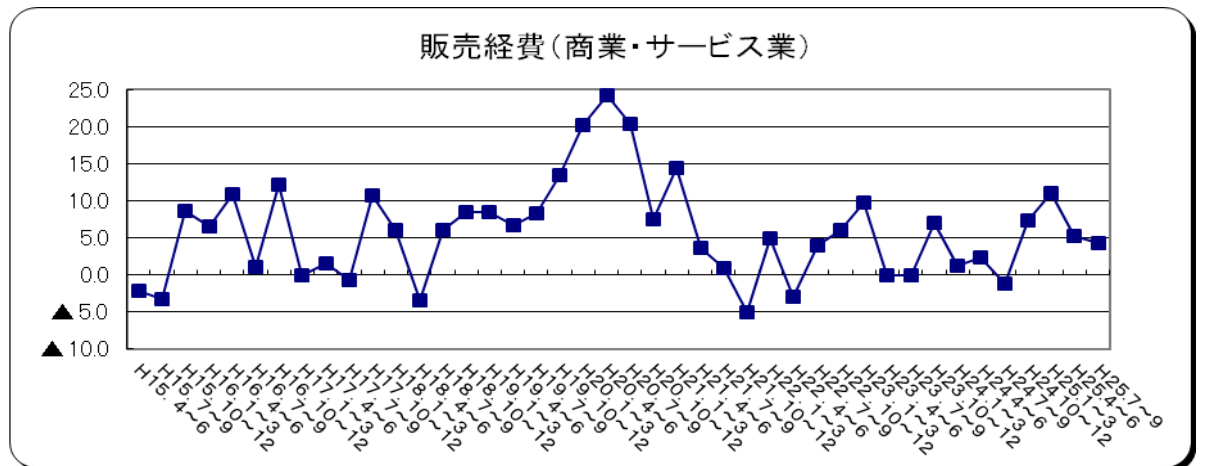


☆ 販売経費について (商業・サービス業関係)

全業種 DI 指数 4.3、前期比 0.9 ポイント減少

業種別 DI 指数 (上位 5 業種)

- ①飲食店 23.1 ポイント、②卸売業 14.3 ポイント、③小売業 (飲・食料品) 及びサービス業 0.0 ポイント、⑤その他の小売業 (大型店含む) ▲6.1 ポイント

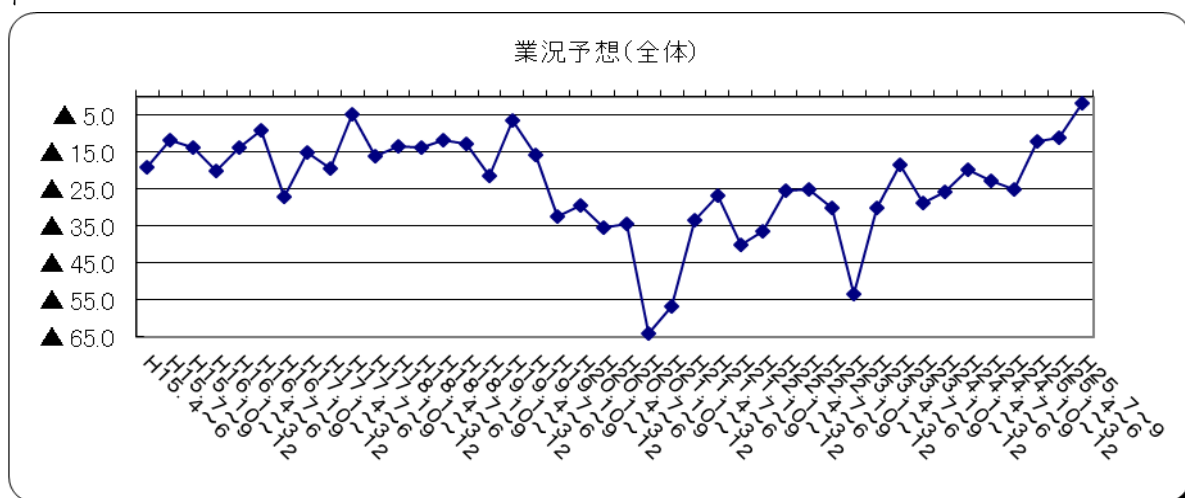


☆ 今後3ヶ月間（平成25年10～12月期の見通し）の業況について

全業種DI指数▲1.6、前期比9.5ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

①建設業 15.8ポイント、②サービス業 7.3ポイント、③食品製造業 5.5ポイント、④設備業及び繊維品製造業、その他の製造業、小売業（飲・食料品）、飲食店 0.0ポイント

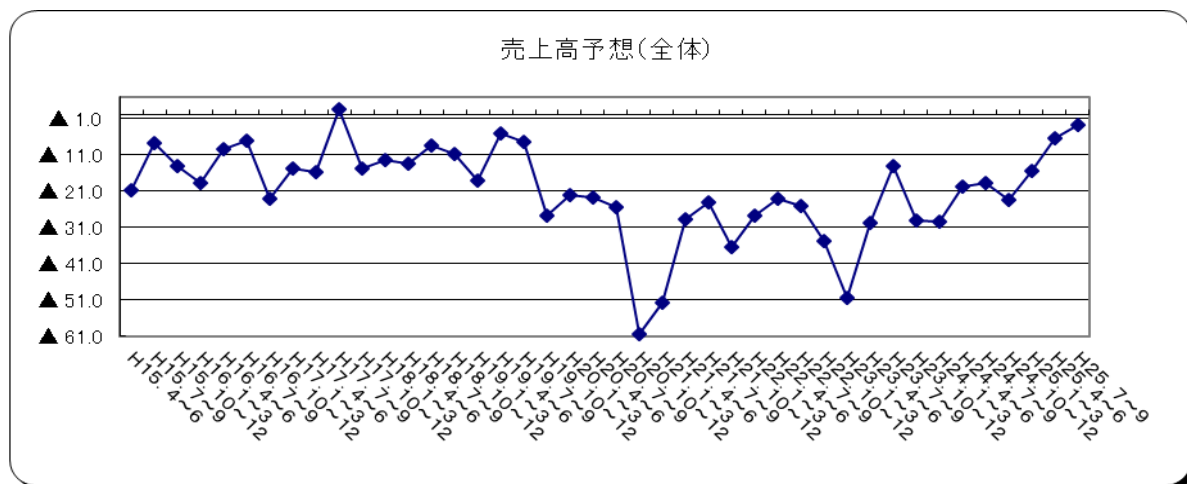


☆ 今後3ヶ月間（平成25年10～12月期の見通し）の売上高について

全業種DI指数▲2.7、前期比3.9ポイント改善

業種別DI指数（上位5業種）

①建設業 16.4ポイント、②繊維品製造業 8.1ポイント、③サービス業 7.7ポイント、④設備業及び食品製造業、小売業（飲・食料品）、飲食店 0.0ポイント

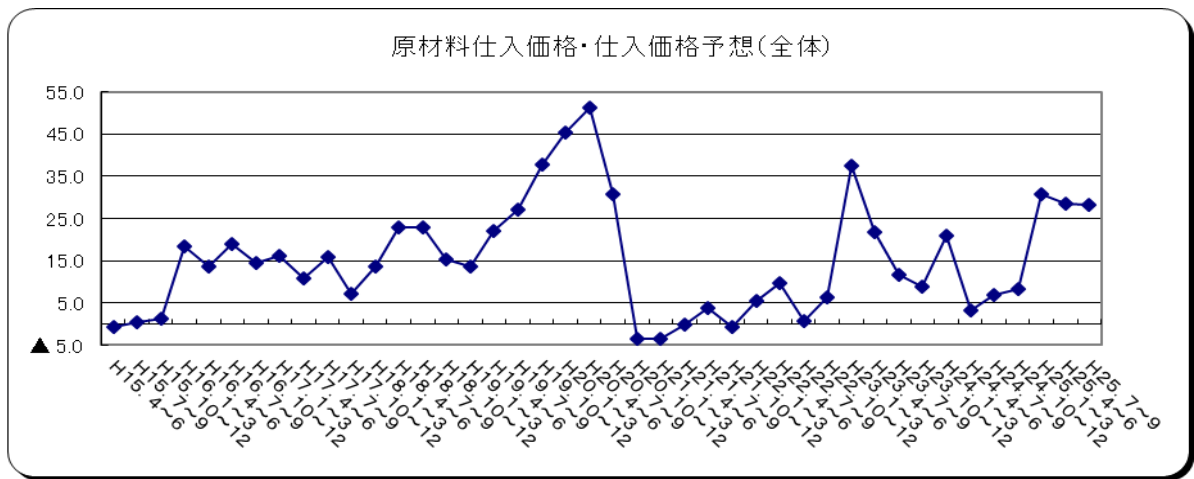


☆ 今後3ヶ月間（平成25年10～12月期の見通し）の原材料仕入価格・仕入価格について

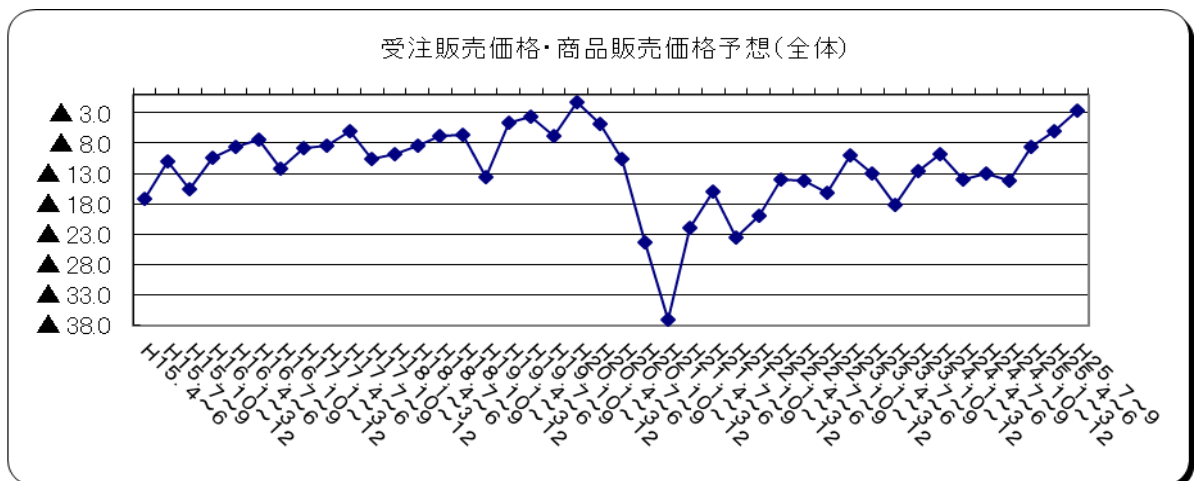
全業種DI指数 28.3、前期比 0.1ポイント減少

業種別DI指数（上位5業種）

①飲食店 65.2ポイント、②食品製造業 62.3ポイント、③建設業 39.6ポイント、④繊維品製造業及び化学・プラスチック製造業 31.6ポイント



- ☆ 今後3ヶ月間(平成25年10~12月期)の受注販売価格・商品販売価格について
 全業種DI指数▲2.6、前期比3.5ポイント上昇
 業種別DI指数(上位5業種)
 ①機械・金属製造業及びサービス業7.0ポイント、③建設業5.3ポイント、④小売業(飲・食料品)4.8ポイント、⑤繊維品製造業及び飲食店0.0ポイント



☆ 市内各事業所からの景況に関するコメント ☆

※景況調査にご協力いただきました事業所のうち、「景気に対するコメント欄」にご記入いただいた内容を、そのまま掲載しております。

建設業

- ・アベノミクス効果を感じることは今のところないのが現状です。
- ・もう少し景気が良くなるように～。
- ・アベノミクスによる好況感は今所無いに等しい。これから消費税、増税による輸入品目の高騰による物価が心配ですね！

設備工事業

- ・記入無し

繊維品製造業

- ・まだ地方は景気が上向しているとは言いがたい。
- ・当期は売上増加を見込んでいたが、外国からの客が少し減ったようで、前期と同じ様になってしまった為在庫が増加した。
- ・急激な円安の進行、中東の政情不安が重なり、エネルギー関連費が高騰する非常に厳しい状況にある。(製造メーカーに於いて)

食品製造業

- ・非常に厳しい現実です。猛暑という暑いだけのせいで売れないという言い訳はできません。この先、どうやって生き残っていくかを考えねばなりません。現在の厳しい現実の中でも活況な会社、商店はあるのですから。
- ・原材料が少しずつ値上がりしている。年が明けると消費税の関係で商品の動きが変わると思う。
- ・遂に消費税アップが決ったようなものとなり、買い控えや(心理的なものを含め)、原料の値上げ等、いくら景気が上向き気味とは言っても実感がほとんどないままの現況で本当に大丈夫なのだろうか、不安がある。

機械・金属製品製造業

- ・原材料の値上げが先行しており、流通の価格転嫁が遅れている。採算維持に苦慮。
- ・アベノミクスの効果は感じられません。2020年東京オリンピックに向けて経済効果はあると思いますが…。現状は良いとは言えません。今、現在の経済を上向きにして欲しいものです。
- ・依然として単価引下げ要請が強い。
- ・秋口から年末に向けて下降気味になると予想されます。
- ・消費税の話題が増えてきました。増税後の反動が怖いです。

化学・プラスチック製品製造業

- ・円安により、原材料仕入価格が高騰しています。併せて夏場の電気料金もUPしており厳しい現状です。

- ・全般的に受注数が増加しているが円安による材料高騰が続いている。
- ・発注数も減少、材料を発注したところで、メーカーの在庫が無い。メーカーも売れないものは作らない。それが今、…。

その他の製造業

- ・業況は良くなりつつある様だ。価格は原料高の製品価格は横ばい。製品の開発は進んでいる。
- ・燃料が上がる中、受注量と販売価格は横ばい。
- ・前年同期と比較すると業況は改善している。但し、まだまだ先が見えない状況です。

卸売業

- ・どうしても価格勝負になってしまっている。
- ・労働力の高齢化による労働力不足がみられるが、現在は一応安定している。

小売業（飲・食料品）

- ・仕入価格は高値安定し、売上は伸びず良い所なしです。暑い日が続き、火を使って料理するのもつらかったかな？
- ・夏の異常に暑い日が続き来客数も減少。又、天候不順で農作物が値上りした。
- ・仕入価格が少しずつ値上り傾向にあり、売りにくくなりつつある。
- ・寒い時期に向って売上は上がると思いますが、昨年同時期よりは悪いと思います。
- ・原材料の値上り、ガソリンの値上り、電気代の値上り、とても大変です。10月には値上をしなくてはと考えています。
- ・当店は、主力商品が出来なくなってしまい（職人高齢のため）、主力商品が2点ぐらいになり、困惑しております。

その他の小売業（大型店含む）

- ・暑かった夏も終わりかと思ったが、まだ切り換えが出来なく、ズルートいつている為、回転が非常に悪い。
- ・景気が良くなっている様だが、実感はわかりません。

飲食店

- ・景気も底をついたような気がする。

サービス業

- ・消費税率を上げるなら一度で上げてほしい。レジや料金表の改正だけで余分な経費がふえてしまう。
- ・写真（DPE）業種で商うのはきわめて悪くなって来た。別の職種に変えないと生活できない！

佐野市景況調査 要項

- 1 調査時期 平成25年7月～9月
- 2 調査業種 佐野市内に本支店を有する建設業・製造業・商業・サービス業・飲食店など290社（内訳：佐野商工会議所地区（旧佐野市）200社、佐野市あそ商工会地区（旧田沼町・旧葛生町）90社）を対象として実施した。

(1) 建設業

① 建設業	25社
② 設備工事業	21社

(2) 製造業

① 繊維品製造業	22社
② 食品製造業	18社
③ 機械・金属製品製造業	40社
④ 化学・プラスチック製品製造業	36社
⑤ その他の製造業	22社

(3) 商業・サービス業

① 卸売業	15社
② 小売業（飲・食料品）	23社
③ その他の小売業（大型店含む）	27社
④ 飲食店	19社
⑤ サービス業	22社

3 分析方法[景況動向指数（D I）による]

景況指数は、好況・不況の差を指数にしたものであり、基準指数が「0」で上限限度は、+100・-100となり、プラスは景況の好転、マイナスは景況の悪化をあらわしている。

D I 方式は、
$$\frac{3x - 3z}{3x + 4y + 3z} \times 100$$
により算出

x：「良い」「増加」「騰貴」「過多」等の回答企業数

y：「普通」「ほぼ同様」「適正」の回答企業数

z：「悪い」「減少」「下落」「不足」等の回答企業数

- 4 主 管 佐野商工会議所
- 5 調査協力 佐野市あそ商工会
- 6 お問合せ 佐野商工会議所経営支援課 Tel（代表）0283-22-5511

